

■文室綿麻呂 武官・公卿。坂上田村麻呂の後を受けて、東北経営に活躍した。  
ふんやのわたまろ  
・・・・・ 765= 生。文室珍努の子大原の長子。

宇佐八幡神託 769= 4歳：

・・・・・ 774= 9歳：

桓武天皇即位 781=16歳：

・・・・・ 783=18歳：

・・・・・ 792=27歳：

平安京遷都・ 794=29歳：

・・・・・ 795=30歳：\_従五位下、右大舎人助に補せられ、

近衛將監・近江大掾・出羽權守・播磨守・侍従・中務大輔・右兵衛督・右京大夫・左大舎人頭など経て、

蝦夷地平定・ 801=36歳：

桓武天皇没・ 806=41歳：

嵯峨天皇即位 809=44歳：\*三山朝臣を賜わり、次いで文室真人を賜わった。その間、左兵衛督・大膳大夫に任せられた。  
菟子の変・ 810=45歳：\*藤原菟子の変では、初め平城上皇側にあったため京に召還され禁固の身となつたが、坂上田村麻呂の奏請により罪を許され、田村麻呂とともに上皇の東国への退路を断つた功により参議に任せられ、大藏卿・陸奥出羽按察使を兼ねることとなつた。  
・・・・・ 811=46歳：\*田村麻呂の死によって征夷事業の中心となる。陸奥国に3郡を設置し、征夷の大軍を動かし、平定した。その功により、従三位勲五等に昇叙。胆沢から斯波にまで伸長した開拓線を確保するため、主に俘囚軍をもって防備につとめ、郡治域の充実安定をはかった。  
・・・・・ 813=48歳：左衛門督、

その後は右衛門督・備前守・右京大夫・右大将・兵部卿・中納言・大膳大夫を歴任し、

・・・・・ 819=54歳：

嵯峨上皇・ 823=58歳：従三位中納言兵部卿で\_没した。